平成24年2月14日

FISCO Ltd.
http://www.fisco.co.jp

平成23年12月期決算短信補足説明

FISCO

当連結会計年度における主な取り組み

収益力強化のための子会社設立及びグループ経営効率化

- 国内におけるファンド関連事業を目的に、㈱フィスコ・キャピタル設立（3月）
- オフショア・ファンド事業を目的に、英領ヴァージン諸島にFISCO International (BVI) Ltd.設立（５月）
- リサーチアンドプライシングテクノロジー㈱の株式譲渡により、持分法適用会社から除外（３月）
- ㈱エヌ・エヌ・エーの株式譲渡により、持分法適用会社から除外（11月）

イー・旅ネット・ドット・コム㈱の株式取得による連結子会社化

- ㈱フィスコ・キャピタルによるイー・旅ネット・ドット・コム㈱の株式取得により、同社及びその子会社㈱ウェブトラベル、㈱世界一周堂、リストン㈱を連結子会社化（イー・旅ネット・グループ）。（９月）

中金オンライン社との業務提携

- 中金オンライン社のウェブサイトにFISCO専用ページ（http://fisco.cnfol.com/）を開設。（５月）

平成23年12月期　連結会計年度業績

（単位：百万円）

	平成23年12月期	平成22年12月期	差異	前期同期比
売上高	1,125	881	244	127.8%
売上原価	512	310	201	165.1%
売上総利益	613	570	42	107.5%
販売費及び一般管理費	607	615	▲ 8	98.7%
営業利益	5	▲ 45	50	－
経常利益	10	▲ 29	40	－
当期純利益	139	14	124	971.9%

平成23年12月期　連結会計年度の業績

売上高

売上高は、前年同期と比較して情報サービス事業で1百万円増加、コンサルティング事業45百万円減少しましたが、イー・旅ネット・グループの連結に伴い、新設したインターネット旅行事業の売上高が363百万円となり、245百万円の増収となりました。

営業利益

営業利益につきましては、インターネット旅行事業における売上原価の増加があったものの、当連結会計年度において、株式報酬費用やのれん償却の新規計上を含めても、販売費及び一般管理費が圧縮し、５百万円の営業利益を計上いたしました。

経常利益

経常利益につきましては、「持分法による投資利益」10百万円等を営業外収益（20百万円）に計上した一方で、円高の影響による「為替差損」7百万円等の営業外損失（15百万円）の計上により、10百万円となりました。

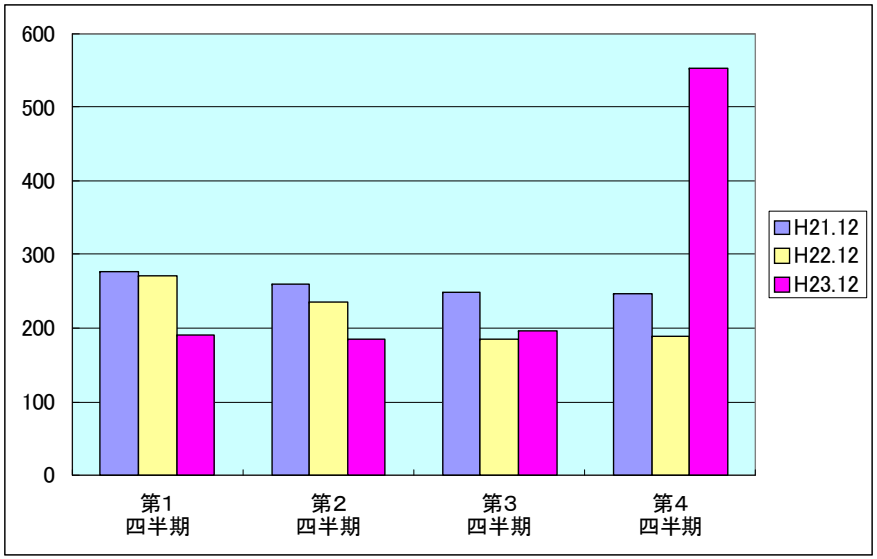
当期純利益

当期純利益は、「組合持分譲渡益」68百万円、「投資有価証券売却益」69百万円等の特別利益を176百万円計上した一方で、「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」11百万円、「本社移転費用」22百万円の特別損失等38百万円により、当期純利益は139百万円となりました。

平成23年12月期　連結業績

連結売上高

（単位：百万円）

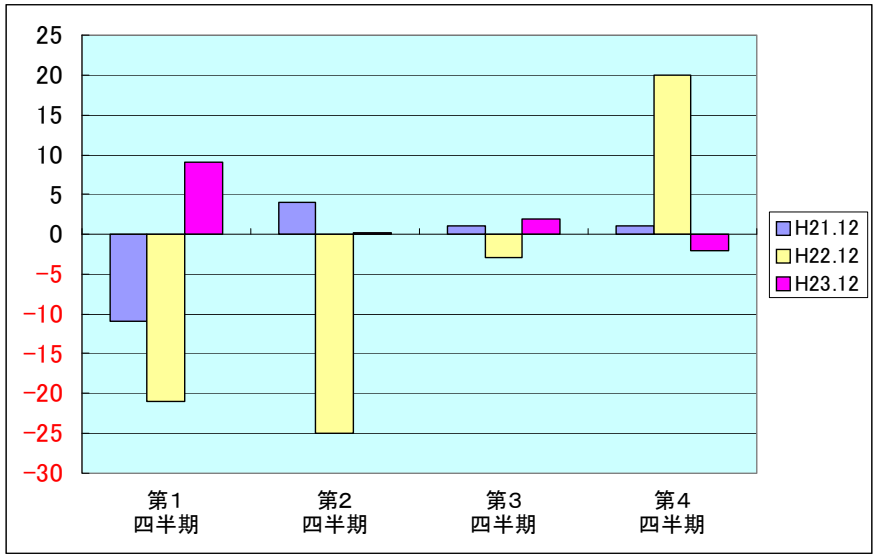


（単位：百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
H21.12	276	260	249	246	1,033
H22.12	271	235	186	188	881
H23.12	190	186	196	552	1,125

連結経常利益

（単位：百万円）



（単位：百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
H21.12	−11	4	1	1	−4
H22.12	−21	−25	−3	20	−29
H23.12	9	0	2	−2	10

セグメント情報

情報サービス事業　前年同期比1百万円増加

〈主な増収要因〉

■ アウトソーシングサービス	＋55百万円	⇒	新規顧客の獲得により堅調に推移。
■ 企業調査レポート	+16百万円	⇒	当社のアナリストが上場会社の最新の決算状況を中正・公平な視点で分析する多言語による企業調査レポートの提供先の拡大に注力。

〈主な減収要因〉

■ 法人向けリアルタイムサービス	△56百万円	⇒	新規契約があるものの、金融機関のコストカットによる影響を受け減収。
■ 個人向けサービス クラブフィスコ（LaQoo+含む）	△18百万円	⇒	東日本大震災による市況悪化及び新規公開企業(IPO）数の減少により、個人投資家の投資意欲が減退傾向。

コンサルティング事業　前年同期比45百万円減少

〈主な増減要因〉

■ ファンドアドミニストレーターサービス	△39百万円	⇒	前連結会計年度において大口スポット契約があった影響
■ ファンド事業関連	+16百万円	⇒	連結子会社FISCO (BVI) Ltdが業務執行しているFISCO (BVI) Limited Partnershipからの管理報酬等の収入。

※今後、コンサルティング事業は、㈱フィスコ・キャピタル（貸金業登録申請中）によるファンド関連事業や、金融コンサルテーション事業としての多様なファイナンスへの取組等、新たな金融ソリューションを提供していきます。具体的には、そのファンド等の運営を通じて、業界再編や事業分離などにともなう企業の多様な資金ニーズに合わせた資金の提供等、積極的に金融派生事業にも取り組んでまいります。

セグメント情報

インターネット旅行事業 363百万円（第4四半期会計期間）

旅行業界におきましては、東日本大震災の影響や旅行業倒産件数が前年比28.5%増となるなど、厳しい環境下にあります。そのような状況において、イー・旅ネット・グループは、多様化するお客様のニーズに細かく対応できるメリットを活かし、当期は売上高前年比で18%増となる高実績をあげております。なお、連結している第４四半期会計期間における業績は、国内旅行が大震災の影響もあり低迷しているものの、海外旅行は円高の影響やこだわりのオーダーメイド型の旅行受注があり、好調に推移しました。

イー・旅ネット・ドット・コム株式会社は、旅行関連商品のe-マーケットプレイス運営し、インターネットを利用して複数の旅行会社の見積りを簡単に比較検討することができるサービスを提供しております。（http://www.e-tabinet.com/）



同社グループの中核企業である株式会社ウェブトラベルは、世界各国を知り尽くしたトラベルコンシェルジュと顧客がメールでコミュニケーションをとりながら、いつまでも心に残るオンリーワンの旅行プランサービスを提供しております。
（http://www.webtravel.jp/）



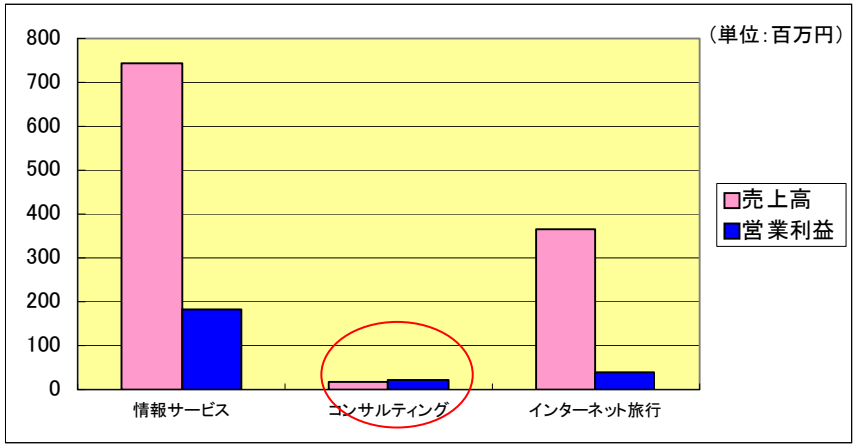
特別利益の実質的帰属を加味したセグメント分析

当社は当連結会計年度よりコンサルティング事業の一環としてファンド関連事業を開始いたしました。当連結会計年度におけるファンド関連の特別利益をコンサルティング事業の売上に見立ててシミュレーションいたしました。当社グループは、今後、ファンド関連事業の規模の拡大を志向し、安定的な収益を継続的に確保することを目標としております。同事業が情報サービス、インターネット旅行事業に加え、大きな収益の柱となるように今後も鋭意努力してまいります。

通常のセグメント

（単位：百万円）

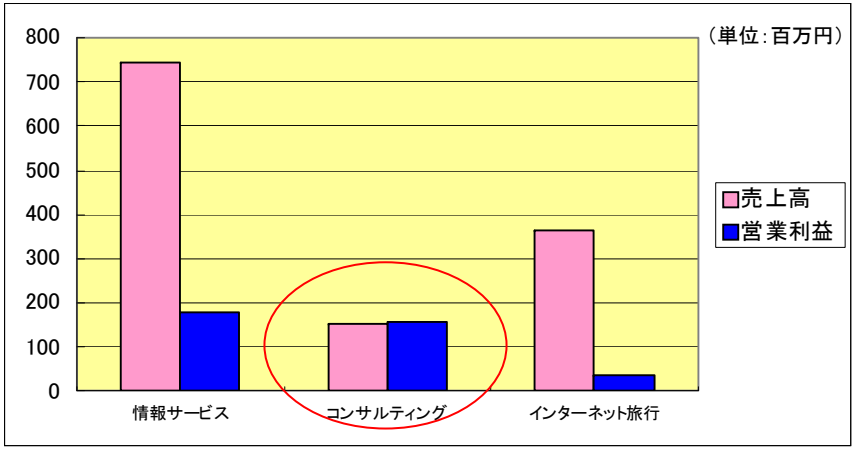
	情報サービス	コンサルティング	インターネット旅行	その他	全社消去	合計
売上高	745	16	363	0	0	1,125
営業利益	179	20	36	0	▲ 230	5
経常利益	0	0	0	0	5	11
当期純利益	0	0	0	0	127	139



組替後のセグメント

（単位：百万円）

	情報サービス	コンサルティング	インターネット旅行	その他	全社消去	合計
売上高	745	154	363	0	0	1,263
営業利益	179	158	36	0	▲ 230	143
経常利益	0	0	0	0	5	149
当期純利益	0	0	0	0	▲ 10	139



※上記の図表は、ファンド関連事業で生み出した特別利益134百万円を売上高に組み替えた場合のシミュレーションです。

連結貸借対照表　主要項目(前期末比)

(単位:百万円)

	平成23年12月期	平成22年12月期	変動額
流動資産	1,227	1,201	26
現金及び預金	926	1,064	▲ 137
その他	300	136	164
固定資産	650	288	361
有形固定資産	23	40	▲ 16
無形固定資産	293	33	259
投資その他の資産	333	214	118
繰延資産	2	4	▲ 1
資産合計	1,879	1,493	385
流動負債	286	81	205
固定負債	101	65	36
負債合計	388	146	241
資本金	1,195	1,195	－
資本剰余金	850	850	－
利益剰余金	▲ 489	▲ 627	137
自己株式	▲ 136	▲ 43	▲ 93
評価・差額換算等	▲ 14	▲ 27	13
新株予約権	10	－	10
少数株主持分	74	－	74
純資産	1,491	1,347	144
負債・純資産合計	1,879	1,493	385

イー・旅ネット・ドット・コム㈱の株式取得や自己株式取得等に伴い減少いたしました。

イー・旅ネットグループの連結に伴い、のれん代(293百万円)を計上いたしました。

イー・旅ネット・グループの連結に伴い、旅行代金の前受金が増加しました。

当期におきまして、自己株式の取得(3,472株)を実施いたしました。

連結貸借対照表　主要項目変動要因(前期末比)

資産の部

・現金及び預金		**△137百万円**
	① ㈱フィスコ・キャピタルによるイー・旅ネット・ドット・コム㈱の株式取得による減少	△362百万円
	② イー・旅ネット・グループの連結に伴う現金及び預金の増加	+201百万円
	③ 自己株式取得に伴う減少	△93百万円
・投資有価証券		**＋79百万円**
	① FISCO (BVI) Limited Partnershipによる中金在線有限公司株式取得による増加	+193百万円
	② FISCO International Limitedによる㈱エヌ・エヌ・エー株式売却による減少	△109百万円
・無形固定資産		**＋259百万円**
	① イー・旅ネット・ドット・コム㈱の株式取得に伴うのれんの計上	+269百万円

連結貸借対照表　主要項目変動要因(前期末比)

負債の部

・流動負債		**+205百万円**
	① イー・旅ネット・グループの旅行代金の前受等による前受金の増加	+177百万円
・固定負債		**+36百万円**
	① イー・旅ネット・グループの借入金の計上	21百万円
	② イー・旅ネット・グループの預り保証金の計上	15百万円

純資産の部

・利益剰余金	当期純利益の計上による増加	**+139百万円**
・自己株式	自己株式取得による減少	**△93百万円**
・新株予約権	ストックオプションによる新株予約権付与による増加	**+10百万円**
・少数株主持分	イー・旅ネット・グループの少数株主持分の計上	**+74百万円**